



こんにちは！ 日本共産党の 小山ゆりえ です

日本共産党蓮田市議団で岩手県西和賀町（平成17年に湯田町と沢内村で合併）と葛巻町（くずまきまち）へ、8月2・3日に視察に行ってきました。

「全国最悪」から「全国一」へ
いのち・くらしを守る村
＝旧沢内村の実践＝

旧沢内村は村を救った深澤まさ雄元村長の実践が全国的に知られており、私もずーと「行きたい」との気持ちを持ち続けていましたが、今回、ようやく願いが叶って訪問することができました。

深沢氏が村長になった1957年当時、沢内村は豪雪と多病多死、乳児死亡率は全国平均の2倍、と全国で最悪の状態でした。深沢氏はこの克服を村人に呼びかけ、除雪のためのブルドーザーを購入、日参して医師を招聘、保健師3人を採用し、家庭訪問を徹底して進め乳児死亡率を全国で初めてゼロにしました。

また、老人医療費無料化の取り組みに対して、岩手県は「法律違反だ」と指摘しましたが「憲法の生存権を実現

する。国は後からついてくる」と主張して一歩も引き下がらず、全国で初めて65才以上を対象に医療費の無料化を実現しました（その後60才以上に拡大）。

今も生きる人間尊重・生命尊重の政治

健康手帳の配布、各地区にいる45人の保健委員、年齢ごとに0才～6才まで月2回の乳幼児健診、巡回・訪問活動の実施など、生命尊重の政治を学ぶことができました。



中学校の一角に設置されたソーラーパネル（左上）と牧場に立つ風車（左下）。エコハウス前のソーラーパネル（右上）



過疎の町から、クリーン
エネルギー日本一の町へ

風力発電15基、中学校には420枚の太陽光発電、ちく糞バイオマス発電、廃木材のペレット、木質バイオマスガス化発電など自然エネルギーを利用し、町のエネルギー自給率166%とされているまち、それが葛巻町です。

町民に対しても新エネルギープロジェクトとして太陽光発電設置、太陽熱利用設置、ペレットを燃料とするストーブ設置、生ごみ処理機、電気自動車購入、LED照明設置費用などに対して補助金を出しており、町民を含めた町ぐるみで自然エネルギーの活用を進めています。

クリーンエネルギー政策を進めてきた結果、今では町を訪ずれる人が50万人を超え、町の経済の活性化につながっています。

電力会社は原発を利用したいがために、電気の購入量を制限しているとのことで、もっとたくさん電気の売却ができる話があり、原発なくても自然エネルギー政策を進めることによって、「十分日本のエネルギーは賄える」との感を深くしました。

（小山ゆりえ）

黒浜後援会の 市議会報告会が開かれました

7月28日(土)午後1時半より蓮田市環境学習館において、黒浜後援会主催の「市議会報告とDVDを観る会」が開かれ、22名が参加されました。

「原発マネー」のDVDを観た後、小山市議より6月蓮田市議会の報告がありました。また、衆院埼玉13区予定候補の並木としえさんより消費税増税問題への日本共産党の政策や衆院選にのぞむ決意が述べられました。

最後の質問や感想の中で、「蓮田へのアレフの進出は」なども出され、小山市議よりの詳しい説明に参加者も認識を深めました。



議会報告を行う
小山市議(上)と、
挨拶する並木予定
候補(下)

「さようなら原発10万人集会」 に行ってきました

7月16日(月)代々木公園で開かれた集会に黒浜後援会からも何人か参加しました。当日は熱中症が心配されるような暑い日でしたが、会場はそれ以上に熱気に包まれていました。

集会の始まった12時半すぎには会場だけでなく、その周りの通路や歩行者天国となつた道路も参加者でビッシリ。舞台からは大江健三郎さんや瀬戸内寂聴さん、坂本龍一さんが訴え、「原発をなくせ」「子どもの未来を守れ」の声が響きわたりました。

(金子記)



全体で17万人が参加。舞台を囲む人の波

わたしのホットにゆうす



楽しみはカラオケです



【デュエット(?)を
楽しむ石山さん(左)】



【会費は300円で、飲み物、
食べ物各自購入】

江ヶ崎在住の石山金城さん(73才)は蓮田市に住居を構えて40年近くになります。職場は東京で、印刷会社を経営されています。

多忙な石山さんですが、月に1回、気の合う仲間10名くらいと市内のカラオケ店でカラオケするのを楽しみにしています。

仕事も忙しく、昨年末に新築した自宅でのんびり過ごすことは当分難しそうですが、カラオケでみんなと歌うことが活力の源になっているようです。

います。カラオケの会は30年以上も続いており、石山さんのオハコは北島三郎だそうです。